

「防災塾・だるま」4月定例会 議事録

<http://darumajin.sakura.ne.jp>

◆日時 : 2019年4月26日 15:30~17:30 司会: 稲垣 博正

◆場所 : 神大24号館310室

◆出席者 : 池田、荏本、山口(章)、田中(喜)、山田(美)、佐々木、山田(富)、磯野、稲垣、早川、紅林、増田(佳)、田中(栄)、中村(誠)、鷺山、釜石 計16名(敬称略)

■配布資料: 1. 「防災塾・だるま」4月定例会議事次第

2. 2号議案 30年度だるま決算報告書

3. 4月定例会意見交換テーマ『奇跡』を起こすために・何ができるか

4. 「災害時要援護者に期待されること・私の自宅避難行動10か条」(5月意見交換テーマ)

5. 養成講座「日程・時間表(案)」

6. J-DAG実施レポート(相模原市:4月6日(土))

7. 神奈川新聞記事(西日本豪雨災害関連)・読売新聞記事(熊本県西原村大切畑地区)

8. 港南区講演会「みんなにやさしい避難所づくり」(5月13日(月))

9. 国民生活4月号:「タイムラインを知っていますか(2)」(山崎登:国土館大教授)

10. 第166回防災まちづくり談義の会「訓練で学ぶ防災・減災(赤嶺正治氏)」・情報4月

11. 大井町防災まちづくりの会

<チラシ関係>①第167回談義の会チラシ:「平成の地震災害対策を振り返って」(5/24)

②ひらつか防災ニュース

③鎌倉 災害と復興展(5/18まで):鎌倉歴史文化交流館

*お願い=大学会議室使用時は静粛に!廊下での発声・携帯電話使用、机・椅子の移動時

- 【4月定例会意見交換】テーマ:『奇跡』を起こすために・何ができるか・・・参加者全員発言
- ・阪神淡路大震災では1時間以内に384人が圧迫死、窒息死した。即死(圧死)は僅か7%
 - ・真備町ではハザードマップ通りの災害が発生したが、多くの住民は避難しなかった
 - ・釜石市鶴住居、長野県白馬村、広島県洋国団地、熊本県西原村大切畑地区(いわゆる奇跡の町)から学ぶ事は、行動を具体化しないと奇跡は起きないということ
 - ・発災後の1時間についてはJ-DAGで改めて気づいた。自治会長の時、自治会のマニュアルに救出避難が抜け落ちていたことに気付いた。自宅マンションで、上階からローラー作戦で回る台本を作って訓練した。今、自治会で地区防災計画を作成している
 - ・奇跡の釜石と言われているが、10分津波が早かったら子供達は助かっていたかという話もある救助に関しては、助けに来なくても助かるようにすることが重要。自助を推進するのは、隣組的な組織ではないか
 - ・自治会の役員をしているが、周りは正常性バイアスにどっぷりと浸かっている人ばかり
 - ・戸建もマンションもある地域だが、場所によって災害が起きる所もあるし起きない所もある
 - ・助からなくてもいいという高齢者が多い。自分の命が助かるためにどうするか、人命が大切
 - ・釜石の子供達は「奇跡ではなく、自分たちの努力だ」と言っている
 - ・思いも寄らなかったが、地域の活動に30台前半の若い人が加入した。今後の活動に期待
 - ・30年前マンションが水浸しに。訓練はしているが、一人でも多くの人に参加して貰えば
 - ・市の対策課では、進化していく訓練、進化する訓練をやろうとしている
 - ・我が自治会は奇跡は起こせない。拠点避難所の学校に、プールの水を使う災害用トイレが出来たので、訓練を計画している
 - ・川が100メートルと離れていないので洪水津波が心配だが、周りの人は災害の無い安全な所と思っている。安否確認訓練は簡素化され、行政は地域に自主防災会を作る考えはないのかと懸念
 - ・30年前に出来た町内会だけが関わりが少ない。住民は災害に対して危機感を持っていない。関心を持っている人と作った防災グループで、今、周りに働きかけをしている
 - ・海川から遠いということでは安全。大火になる可能性があるので、失火対応、初期消火に注力
 - ・横浜市から建築物不燃化推進事業補助の指定を受けている地区なので、建て替えが進んでいる
 - ・想定外の土砂災害で死者が出た。病気をしたことが契機で防災について視点が変わる可能性がある
 - ・自宅付近は高齢化し空家になっていた家が建て替えられ、若い人が住むようになってきているが、防災訓練は旧態依然。イメージトレーニングをすることで、発災した時の対応が可能になる

【Ⅰ 運営関係】

1. 会員、会計関係
 - ・議事次第のとおり。談義講師の謝礼につき、会員講師について「1000円」とし、予算化した
2. HP・情報提供
 - ・会員への情報提供にご協力ください
 - ・5月定例会の意見交換テーマ「災害時要援護者に期待されること」(田中(晃))
3. 定例会等の使用会場対策について
 - ・県施設の利用者登録済み。新杉田地域ケアプラザ、青少年育成センターについて団体登録済み

【Ⅱ 主催・共済事業など】

1. 実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座
 - ・依頼講師の講演テーマを確認中。大学への講座ガイドブックの原稿締め切りは5/24(金)
2. J-DAG(配布資料⑥参照)・・・鷺山
 - ・「発災後1時間」の対応については、様々な防災で抜け落ちている。だるまとして啓発事項の最優先とすべきではないかと認識している
 - ・防災士会のJ-DAGであり実施後の反省会で、「安否確認する“直後家族情報”と指示書で出される状況が乖離している」、「家屋倒壊での救出や、火災に対する消火活動ができたかどうか、どうしたら成功なのか分からない」、「相模原では倉庫の資機材のうち、特に火災対策のものが足りていない」等々の意見が出た
3. 「かながわの人と智をつなぐネットワーク」・・・山田(美)
 - ・6/23(日)神大で「防災ミーティング」開催。「ミーティング」の活動では地域と連携することが未だ難しい

【Ⅲ 協力・参加・情報・その他】

1. 「防災ギャザリング2019」(5/11)
 - ・県民センター集合：7時50分、終了予定：1～2時。だるま会員は参加協力してください
2. その他・・・早川、池田
 - ・7月26日(金)松山順三先生との意見交換会は、関内ホール地下2Fを予定。
 - ・10月11日(金)川崎市健康安全研究所見学と岡部信彦所長の講演会
川崎市健康安全研究所 〒210-0821 川崎市川崎区殿町3-25-13
川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)2階

【Ⅴ 今後の予定】(だるまHPの「カレンダー」参照)

1. 令和元年5月例会 5月24日(金)会場：さくらリビング第1研修室(桜木町ぴおシティ6階)
月担当：中島、田中(晃)
 - ・第11回 だるま定期総会 13:00-14:00
 - ・定例会 14:15-15:45 担当：中島、田中(晃)
話題：「災害時要援護者に期待されること」
 - ・第167回談義の会 16:00-18:00 担当：中島、田中(晃)
話題：「平成の地震災害を振り返って」
講師：杉原英和氏(元神奈川県防災センター所長・消防学校長)
 - ・役員会 5月7日(火) 10-12時30分 大学-851C
 - ・資料準備 (当日) 13-13時30分 大学-851C
2. 令和元年6月例会 6月28日(金)会場：大学24号館310室 月担当：山田(美)、鷺山
 - ・定例会 話題：「テーマ未定」 14:15-15:45 担当：山田(美)、鷺山
 - ・第168回談義の会 16:00-18:00 担当：山田(美)、鷺山
話題：「災害時に命を守る応災力」
講師：荻原 洋聡氏(元海上自衛隊一等海佐)
 - ・役員会 6月4日(火) 10-12時30分 大学-851C
 - ・資料準備 (当日) 13-13時30分 大学-851C

以上

(記録：中村 誠)